

取扱説明書

マルチタッチ対応 15.6型ワイド液晶ディスプレイ
LCD-CF161XDB-MT



MANU000927

保証書は添付しておりません	
修理の際には、購入日の証明（シシート・納品書など）が必要です。大切に保存してください。	
表面	<ul style="list-style-type: none"> 添付品を確認する 角度を調節する つなぐ
裏面	<ul style="list-style-type: none"> 困ったときには アフターサービス ハードウェア保証規定
使う	<ul style="list-style-type: none"> 安全のために 使用上の注意 液晶ディスプレイの回収・リサイクル

ご注意：製品本体に強い力が加わると液晶パネル破損の原因となります

- 本製品を設置する際やケーブル・ACアダプターを抜く際は、液晶パネル（液晶画面）に触らないようご注意ください。破損の原因になります。設置の際には両手で両サイドを抱えるようにお持ちください。

- 持ち運びの際、液晶パネルを物などで押さないよう十分ご注意ください。破損の原因になります。

- ・キャリングケースには製品本体だけを入れてください。ケーブル・ACアダプターなどを入れないでください。

- ・かばん内にキャリングケースとケーブル・ACアダプターを入れて運ぶ場合、ケーブル・ACアダプターがキャリングケース越しに液晶パネルを押すおそれがあります。ケーブル・ACアダプターをキャリングケースの隣に収納する場合は液晶パネルとは逆側にするなど、収納方法にご確認ください。

- ※キャリングケースは液晶パネルに細かい傷がつくことを防ぐためのものです。落下や衝撃、液晶パネルへの強い力が加からないよう保護する目的では使用できませんのでご注意ください。
- ※キャリングケースに入れた状態で、万が一パネルが割れた場合には、ガラスの破片などで怪我をしないようご注意ください。

液晶パネルに
触らないようにする！

ケーブル・ACアダプターなどを入れない！

製品本体だけを入れる！

キャリングケース越しに
押さない！

添付品を確認する

□ USBケーブル*
[C-C USB 3.2 Gen 1 (USB 3.0)]

□ HDMIケーブル
(HDMI-miniHDMI)

□ ACアダプター

□ キャリングケース

* USBケーブルを別途用意する場合は、「USB PD 対応、eMarker 内蔵 3A 対応の USB 3.2 Gen 1 ケーブル」をご用意ください。

角度を調節する



スタンドの角度を変えることで、画面の角度を調節する

つなぐ

1 パソコンとつなぐ



○ USBケーブル(USB-C)
○ HDMIケーブル

○ USB-C(2つの内どちらか)*
○ HDMI(miniHDMI)

* USB-Cへの映像入力は1つだけです。2つのUSB-Cへそれぞれ映像入力することはできません。なお、パソコンにはDisplayPort Alt Modeに対応したUSB Type-Cポートが必要です。

解像度

本製品は、最大解像度 1920x1080 (60Hz) に対応しています。

HDMI につないだ場合

タッチ操作をする場合は、USB-Cとパソコンをつないでください。パソコンにUSB-C端子がない場合は、別途データ通信ができるUSB A-Cケーブルをご用意ください。

2 電源コンセントとつなぐ



※ 2つあるUSB-Cのどちらかにつなぎます。

USBケーブルから給電することもできます

その場合、ACアダプターをつなぐずに本製品を使えます。
※ 給電不足により映像が表示されなかったり、輝度が低かったりした場合は、ACアダプターをつないでください。

取り扱い時のご注意

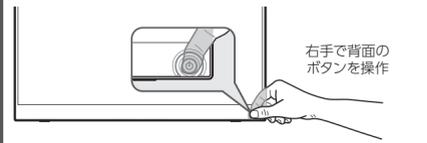
けがの原因になります。
●手や指をはさまない

- 本製品を床などに落とさない
- 液晶パネル（表示面）を傷つけない
- ケーブル、電源コードに無理な力をかけない
- 液晶パネルを手で強く押さえない

使う

ボタンの操作方法

本製品は、すべて1つのボタンで操作します。ボタンは本製品の背面右下にあります。右手を背面に回し、人差し指などで操作します。ボタンは押すだけでなく、上下左右に倒すことができます。



電源を入れる

ボタンを押す

電源を切る

3秒間ボタンを押し続ける

電源ランプについて

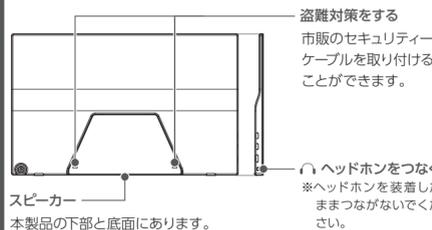
点灯	青	電源入
	青 / オレンジ	輝度音量制限状態 ^{※1}
	オレンジ	節電状態
点滅	青	電源不足 ^{※2}
消灯 ^{※3}		電源切

※1 ACアダプターを見ながら、USBケーブルからの供給電流が少ない場合（1.8A未満）、最大輝度・最大音量が制限されます。ACアダプターをつなぐと、この状態は改善されます。
※2 ACアダプターをつないでください。
※3 設定によっては、電源入や節電状態でも消灯することができます。

端子に無理な力をかけないでください

- 端子に無理な力をかけると、端子が破損する恐れがあります。
- ・つなぐ際には端子の形状を確認し、まっすぐつないでください。端子の向きが逆や斜めの状態でつながないでください。
- ・つないだ状態で本製品やケーブルを動かしたりしないでください。
- ・ケーブルを張った状態にしないでください。

その他の端子などについて



盗難対策をする
市販のセキュリティーケーブルを取り付けることができます。

※ヘッドホンを装着したままつながないでください。

詳細な設定をする

スタートメニューが開きます。



メインメニューでは、詳細な設定ができます。

お気に入り機能

本製品には、よく使う設定項目を「お気に入り」として登録する機能があります。「お気に入り」として登録した設定項目はスタートメニューに表示され、メインメニューを開くことなく呼び出すことができます。
◆お気に入りを登録するには
スタートメニューからメインメニューを開き、登録したい項目で右に3秒間ボタンを倒し続けます。

メニュー操作を無効化する(メニューロック)

上に3秒間ボタンを倒し続けます。解除も同様の操作でできます。

設定については「詳細ガイド」をご覧ください



https://www.iodata.jp/lib/manual/lcd_234413/

タッチ操作する

指でタッチ操作します。

パソコン起動時やUSBケーブル挿抜時にご確認ください
パソコンの起動時やUSBケーブル挿抜時に画面に触れていると、誤動作の原因になります。

- パソコン起動してデスクトップ画面が表示されたり、USBケーブルを挿抜したりが終わって、10秒経ってから画面に触れてください。
- 変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに拭いた柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■キャリングケースの取り扱いについて
濡った状態での長時間の放置、または強い摩擦などにより、多少の色落ちや色移りが生じる場合があります。ご注意ください。

■バックライトについて
本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
※ご自分で交換は絶対してはなりません。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告および注意表示

- ▲警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
- ▲注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼記号の意味

禁止

指示を守る

警告

- 本製品を修理・分解・改造しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、本製品やACアダプターには触れない
感電の原因になります。
- ACアダプターを含む本製品をぬらしたり、水気が多い場所を使わない
水や洗剤などが本製品にかかると、隙間から液み込み、発火・感電の原因になります。
- お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺で使う際は、特に注意する
- 水の入ったもの（コップ、花瓶など）の上に置かない
- 万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使わない
- 追加アダプターは、他の機器につながらない
発火や感電の原因になります。添付のACアダプターは、本製品専用です。
- ACアダプターは、添付品または指定品のもの以外を使わない
ACアダプターから発煙したり、発火の原因になります。
- 梱包用のビニール袋や取り外しした小さな部品（端子カバーなど）を乳幼児の手の届くところに置かない
ビニール袋をぶついたり、小さな部品を誤って飲み込んだりすると、窒息の原因になります。
- 取り付け、取り外し、移動の際は、必ず先にパソコン・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。
- じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保水性の高いもの近くで使わない
発火の原因になります。
- 熱器具のそばに配線しない
電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。
- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
- AC100V(50/60Hz)以外のコンセントにつながらない
発熱、発火の原因になります。
- 煙が出たり、変な臭いや音が出たら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。
- ACアダプターにものゝせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない
電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

注意

- 眼精疲労を防ぐため、以下を守る
ディスプレイを見ながら作業を行うときは、ディスプレイ画面の明るさ、書体およびキーボードの明るさを調整してください。また、連続作業をするときは、1時間10分から15分程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労が蓄積されます。
- 液晶パネルの表面を傷つけない
画面に力が加わると、破損や故障、色移りなどの原因になります。
- 画面を先のとがった物で触らない
破損や故障、けがの原因となります。
- 破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- 人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛かること、けがの原因になります。
- 電源を入れた状態で、おあ向け、横たおし、寝まさないでください
内部に熱たため、発火の原因になります。
- 液晶パネルの表面を傷つけない
画面に力が加わると、破損や故障、色移りなどの原因になります。
- 画面を先のとがった物で触らない
破損や故障、けがの原因となります。
- 破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- 人が通行するような場所に配線しない
足を引っ掛かること、けがの原因になります。

使用上の注意

■画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると画面の焼き付きを起こすことがあります。

- パソコンやディスプレイを使用しないときは電源を切る。
- なるべく、省電力機能またはスクリーンセーバー機能を使う。

■お手入れ方法

本製品についての汚れなどを落とす場合は、ACアダプターを抜いてから、柔らかいきれいな布で軽く乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、消毒薬、化学ぞうきん、クリーナー/クリーニングペーパーなどは使わないでください。
- 変質やひび割れなどの原因になります。
- 液晶パネルに水滴などをつけたまま放置しないでください。水滴などがついた場合はすぐに拭いた柔らかい布などで拭き取ってください。放置しておくと液晶パネルが変色したり、シミの原因になります。また、水分が内部へ入ると故障の原因になります。

■キャリングケースの取り扱いについて
濡った状態での長時間の放置、または強い摩擦などにより、多少の色落ちや色移りが生じる場合があります。ご注意ください。

■バックライトについて
本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたたり、点灯しないときは、新しい液晶パネルへの交換が必要です。
※ご自分で交換は絶対してはなりません。交換等につきましては、弊社サポートセンターへお問い合わせください。
※液晶パネルは非常に高価です。有料による液晶パネル交換は高額になることをあらかじめご了承ください。

- ゆるいコンセントにつながらない
電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがある場合にはつながらないでください。発熱して発火の原因になります。

- 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードに傷が付き、発火や感電の原因になります。

- テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する。たこ足配線はしない
テーブルタップの定格容量(1500Wなどの記載)を超えて使うと、テーブルタップが発火の原因になります。

- 故障や異常のまま、つながらない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

- コンセントまわりは定期的に掃除する
長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。(トラッキング現象)

- ダッシュボードの上や取巻の室内など高湿になる場所に設置や放置しない
高湿になり、発火の原因になります。

- 磁石部を磁気に関りものへ近づけない
スピーカー部には磁石が組み込まれています。携帯電話、アナログ時計、フロッピーディスク、磁気カード、磁気テープ、乗券など、磁気に関りものへ近づけないでください。装置および記憶内容の破損の原因になります。

